

今週の株式相場見通し

- * 日経平均 28,500~30,300円 TOPIX 1,860~2,020
- * 期待材料 新型コロナの感染抑制に伴う経済活動の正常化 米国の追加経済対策
- * 不安材料 ワクチン接種の遅れ 米中対立 ミャンマー情勢

追加経済対策が早期にまとまるとの期待感から米国株が好調に推移したことで、先週の日経平均株価は30年半ぶりに29,000円台を回復。緊急事態宣言の発出もあり、日本の新型コロナの新規感染者数の伸びが鈍化している。2月中旬には新型コロナワクチンの接種も開始される見通しとなっており、経済再開への期待感から、春に向けて日経平均株価は3万円乗せの展開になることが期待される。日本企業の10-12月期決算は、新型コロナの感染が抑制されていたことで、ビジネス活動の正常化が進み、製造業や情報通信、サービス業など幅広い業種で業績の改善が見られた。新型コロナの感染者数の増加に伴い、1-3月期は多くの内需企業の業績は落ち込むことが見込まれるものの、新型コロナの感染者数の抑制が進み経済活動が再開されれば、4-6月期の業績は持ち直すものと思われ、業績改善を期待して個別企業の株価も堅調に推移することが見込まれる。新型コロナの感染が抑制され経済活動の正常化が進むようなら、旅行関連需要の回復は早いと思われ、お土産用お菓子の寿スピリッツや航空券・宿泊予約サイトのエアトリ、アドベンチャーなどに引き続き注目したい。また、外出が増えることで化粧品の需要回復も進むものと思われ、化粧品、サプリメントのファンケルにも期待したい。新型コロナに伴う化粧品需要の落ち込みで、21年3月期計画は下方修正となったが、12月に販売を開始した、健康な人の免疫機能の維持を助ける機能性表示食品「免疫サポート」の販売が好調に推移しており、コロナ禍を経て健康意識が高まりつつある中国では、サプリメントの越境EC売上が前年比3倍に拡大。化粧品の需要回復が進むようなら、21年度業績は増収増益に転換することが期待される。また、製造業の業績改善も力強いものがあり、なかでも電動車向けパワー半導体の需要が好調な富士電機に注目したい。10-12月期決算はパワー半導体事業がけん引し営業増益に転換。自動車向けパワー半導体の受注は前年同期比64%増、電動車向けは約2倍に拡大。中国など世界各国で電動化の流れが加速し、1-3月期以降も好調に増加する見通しを示しており、21年度業績の改善が期待される。(2月10日現在、松本 直志)

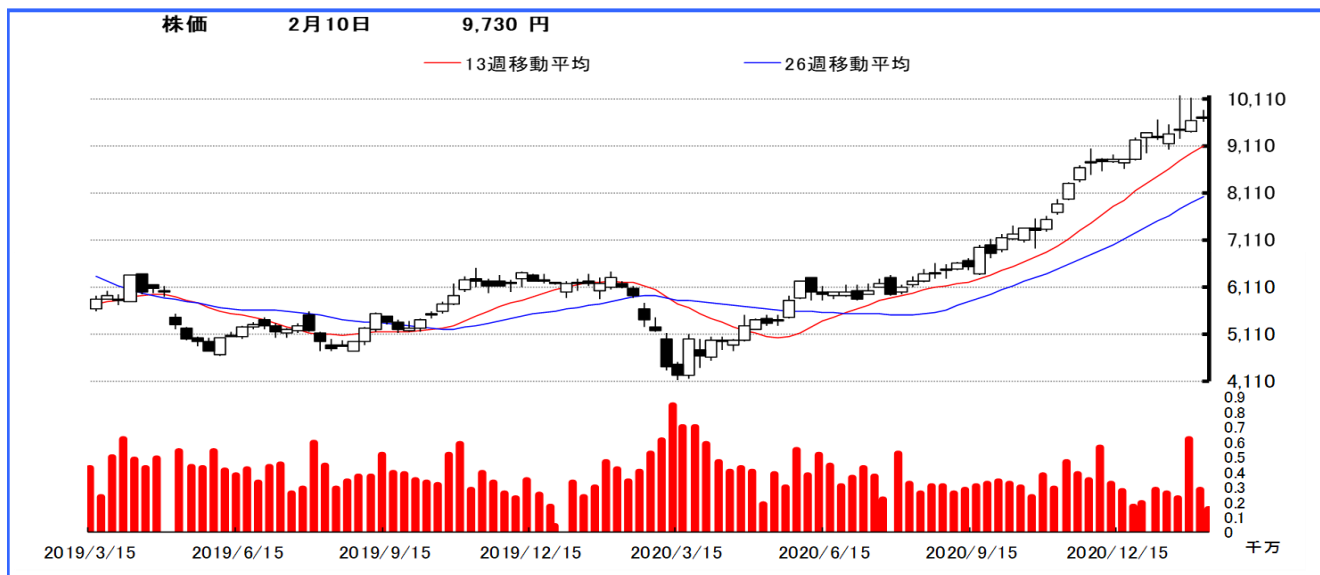
今週の予定

	国内	海外
2/15 (月)	ファイザーの新型コロナ用ワクチンが厚生労働省より承認される見通し	[米]休場(ワシントン生誕日) [米]インテル新CEOが就任
16(火)	ブリヂストン(5108)本決算・中計発表	[欧]2月ZEW景気期待指数(19:00)
17(水)	医療従事者に対して、新型コロナ用ワクチンの先行接種が開始される見通し	[米]1月小売売上高(22:30) [米]FOMC議事要旨(1月26日27日開催分)
18(木)	大戸屋HDの臨時株主総会	[米]1月住宅着工件数(22:30)
19(金)	1月消費者物価指数(8:30) 2月製造業PMI(9:30)	[欧]2月製造業PMI(18:00) [米]1月中古住宅販売件数(24:00)
20(土)	ラグビー トップリーグ開幕	世界社会正義の日
21(日)	日本カプセル内視鏡学会学術集会 競馬フェブラリーステークス	[ニュージーランド]カンタベリー地震から10年

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄 日東電 (6988) 東証1部



	19年03月期 (百万円)	前年比	20年03月期 (百万円)	前年比	21年03月期(予) (百万円)	前年比	株価(2/10)	9,730 円
売上収益	806,495	-5.9%	741,018	-8.1%	755,000	1.9%	業種	化学
営業利益	92,777	-26.2%	69,733	-24.8%	90,000	29.1%	時価総額	15,447 億円
経常利益	91,910	-27.2%	69,013	-24.9%	90,000	30.4%	PER(予想)	22.10 倍
当期純利益	66,560	-23.8%	47,156	-29.2%	65,000	37.8%	PBR(実績)	2.11 倍
EPS(円)	423.5		301.32		439.29		ROE(実績)	6.79 %
配当金(円)	180		200		200		配当利回り(予想)	2.05 %
							担当	多功 毅

出所: 業績に関する数値は決算短信より

3Q(10-12月)決算は、前年同期比8.3%増収、75.6%営業増益、2Q比では7.2%増収、34.5%営業増益で着地した。タブレット端末やノートPC向け偏光板がテレワーク需要で引き続き旺盛であったことや、半導体製造工程用部材、有機EL向け両面テープなどが好調に推移したことに加えて、自動車市場の回復も3Qの業績改善に寄与した。テレワーク関連需要や自動車の生産回復が想定以上であることや、4Qについても同様の事業環境が見込まれることを踏まえて、通期計画については売上高を400億円、営業利益を150億円上方修正し、前年比1.9%増収、29.1%営業増益とした。

半導体製造工程用部材は、昨今の半導体不足の環境を踏まえると来期に向けても拡大基調を維持する可能性が高いものと思われる。また、スマホについては液晶ディスプレイに比べて当社が弱かった有機ELディスプレイ向けで、両面テープに加えて偏光板の採用が拡大している点は、スマホの搭載ディスプレイが今後、一段と有機EL化する可能性が高いことを踏まえるとポジティブな要因である。さらに、今回の決算説明会に最大のサプライズであったのが、新製品であるスマホ向け高精度基板の成長であった。会社側は顧客名や具体的な用途についての情報開示は行っていないが、北米の大手スマホメーカーのカメラ用アクチュエータ向けに採用されたものと推察される。同製品は、日東電工の製品ラインナップの中でも高い収益性を確保している模様であり、今後の本格的な利益寄与が期待される。また、ライフサイエンス事業において展開する受託製造事業においては、新型コロナウイルスのワクチンに関する案件が持ち込まれており、対応を進めているとしている。半導体製造工程用部材、有機EL向け部材、スマホ向け高精度基板などの成長と共に、中長期的な観点ではライフサイエンス事業の収益貢献化にも期待したい。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(2/10)	コメント
住友化学 (4005) 東証1部 525円	21年3月期3Q累計決算は前年比0.5%減収、コア営業利益で8.0%減益の1,070億円 で着地。通期については0.5%減収、コア営業利益で24.6%減益の1,000億円計画を 据え置いた結果、4Qについては70億円の赤字計画となっている。計画据え置き の理由としては、子会社の大日本住友製薬の進める新薬の国際共同治験フェーズ3 の結果が2月に判明すること、ファイザー社との提携効果の算定が終わっておらず、 4Qの業績予想が流動的であるためとしている。(多功 毅)
富士フイルム (4901) 東証1部 6,498円	21年3月期3Q累計決算は前年同期比9.0%減収、20.6%営業減益、4.8%最終増 益だった。併せて通期の見通しを修正した。売上高は1.4%下方修正したものの、 営業利益を11.9%、最終利益は28.0%上方修正した。最終利益は過去最高となる。 医療関連株の売却益など営業外収益を500億円計上した。ヘルスケアは順調に成 長しており、利益を大きく伸ばし計画に対し上振れ。営業利益の上方修正の大半 はヘルスケア&マテリアルズの増益分だった。4Qはコロナ禍の影響を受け売上 を下方修正したドキュメント事業の回復にも期待したい。(志田 憲太郎)
日本製鉄 (5401) 東証1部 1,457.0円	21年3月期3Q累計の決算は前年同期比22.9%減収、本業の儲けを示す事業損益、営 業利益、最終損益はそれぞれ赤字幅を縮小した。併せて通期の最終損益の見通しを 2Q発表時点の1,700億円の赤字から1,200億円の赤字に上方修正した。3Qは、事業 利益、最終損益は黒字転換した。四半期で黒字化は5期ぶり。事業損益は上期1,065 億円の赤字に対し、下期は1,365億円の黒字と急速に改善、通期で300億円の黒字 化を見込む。来期は、通期で最終利益の黒字化が見えてきた。(志田 憲太郎)
NEC (6701) 東証1部 6,330円	21年3月期3Q決算は、資産売却の影響を除いた実業ベースで前年同期比33.1% 営業増益。受注改善や5G基地局、GIGAスクール需要の取り込み、海外事業の改 善などにより増益へ転換。3Qの受注は事業法人向けの回復やGIGAスクール、5G 基地局投資の本格化を取り込み前年同期比5%増加。デジタルシフトに向けた既 存システムの再構築やリモートワーク対応、非接触化などに絡んだIT需要が増 加しており、来期に向けて業績改善が続くものと思われる。(松本 直志)
ヒロセ電機 (6806) 東証1部 16,170円	21年3月期3Q決算は前年比19.8%増収、78.7%営業増益、2Q比で11.3%増収、19.3% 営業増益での着地。5Gスマホ向けと、自動車・モビリティ向けが好調に推移したう え、産業機械、コンシューマ・モバイル向けも堅調に推移している。3Q業績が好調 であったことを踏まえて通期業績予想を上方修正。年明け以降、スマホ向けは緩や かに減速しているとするが、自動車向けは好調が持続し、産機向けも緩やかに回復 しつつあるとしており、4Q計画は保守的と思われる。(多功 毅)
アドバン テスト (6857) 東証1部 8,810円	21年3月期3Q決算は前年同期比11.7%増収、6.9%営業増益、受注は30.4%増。 高性能コンピューターやスマホ向け半導体、データセンター向けメモリのテスト 需要が拡大し、3Q受注は四半期で過去最高を更新。通期計画を上方修正し、売 上、受注ともに過去最高を更新見込み。21年も5Gスマホや高性能コンピューター ー、ディスプレイドライバIC向けテストの需要拡大により、業績拡大が続くこ とが見込まれる。(松本 直志)

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室